

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	<p>※ 委員発言が行われた部分のみ記述する。</p> <p>会議に先立ち、第1回目のため以下のことが行われる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 委嘱状の交付式 2 委員自己紹介 3 事務局職員紹介 4 会長、副会長選出 <p>[会長] 大杉委員 [副会長] 白井委員</p>
田代参事	<p>ただいまより、平成27年度第1回地域包括支援センター及び地域密着型サービス等運営協議会を開催いたします。</p>
田代参事	<p>(資料の確認)</p>
田中市長	<p>(挨拶)</p>
委員	<p>(委員自己紹介)</p>
事務局職員	<p>(職員自己紹介)</p>
田代参事	<p>運営協議会の経緯と変更点を説明させていただきます。昨年度までは地域包括支援センター運営協議会と地域密着型サービス運営委員会を別々に要綱を定めて設置しておりましたが、所管する事項が市の附属機関と判断されたため、平成26年12月25日付で要綱から条例による設置となりました。地域包括支援センター運営協議会と地域密着型サービスは平成18年から行われており、委員は兼務、ほぼ同日開催という</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中市長	<p>経緯がございました。そのため、二つの要綱を一つの条例にまとめて設置したという経緯でございます。</p> <p>(会長・副会長選出)</p> <p>[会長] 大杉委員 [副会長] 臼井委員</p>
大杉会長	(挨拶)
臼井副会長	(挨拶)
田代参事	<p>ありがとうございました。</p> <p>(田中市長 中座)</p>
議長(大杉会長)	<p>地域包括支援センター及び地域密着型サービス等運営協議会条例第6条第1項の規定により、会長が会議の議長となる旨が定められておりますので、大杉会長に議長として以降の進行をお願いいたします。</p>
議長(大杉会長)	<p>それでは議長をつとめさせていただきます。本日の議題は4つあがっております。まず(1)地域包括支援センターの運営状況についての項目について進めて参りたいと思います。それでは、事務局からの説明をお願いします。</p>
下村主幹	(資料 No.1 地域包括支援センターの運営状況について説明)
議長(大杉会長)	<p>ただいまの説明をお聞きした上でご質問等ありますでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
川名委員	<p>包括支援センターが非常に複雑で配慮すべき業務をされていることが良くわかりました。業務内容等のソフト面の他に相談業務等を行うためのスペースとしてはどうお考えでしょうか。東藤沢の地域包括支援センターは関わっていく中で狭いように感じています。現状の課題や今後の方針等はいかがでしょうか。</p>
田代参事	<p>包括支援センター立ち上げ当初から設置スペースについては様々な角度から検討させていただいておりました。東藤沢の包括支援センターに関しましては、当初、目の前にある東藤沢公民館に設置できないか検討しておりましたが、どうしても協議が整わず、目の前の空き店舗を借りたという経緯がございます。ご指摘のとおり、包括支援センターではプライバシーの観点からも個別での相談業務のためのスペースが整っていない包括支援センターもございます。東藤沢の包括支援センターに関しましては、広く住民の方に開放するためのスペースが確保されております。そちらを改修し個別の相談業務を行えるようなスペースにあてたい等の要望があるようでしたら、要望には対応してまいりたいと思います。全体的には、公共施設への設置が基本方針としてあります。ご存じのとおり、東金子地域包括支援センターに関しましては、昨年、東金子公民館への移設が出来ました。また、本年度は西武地区にて、西武公民館の管理人室への移設を予定しております。その他の包括支援センターにおいても、黒須公民館をはじめ、公民館の建替え計画に併せての検討を行っておりますので、時間はかかりますが、ご理解いただけますようお願い申し上げます。</p>
川名委員	<p>それでは、スペース・環境的には問題ないということで理解させていただいて大丈夫ということですね。</p>

発 言 者	発 言 内 容
田代参事	はい。大丈夫です。
議長(大杉会長)	<p>資料 No.1 の1ページ目にある委託先及び職員体制の項目に公民館の移設に関する項目を入れた方が良いのではないのでしょうか。そうすることで、いずれは公民館に移設するという方針も分かりやすいと思います。</p> <p>それでは、他に何かありますでしょうか。</p>
高野委員	資料 No.1 の3ページ目にある権利擁護業務におきまして、困難事例が142%と1年で大幅に増加していますが、解釈が変わったのか本当に増えたのか、理由を教えてくださいてもよろしいでしょうか。
下村主幹	困難事例におきましては、増えてはおります。しかしながら、包括毎に集計しておりますので、包括毎に多少の解釈の違いはあるかと思えます。
高野委員	それでは、ますます増えるということでしょうか。
議長(大杉会長)	困難事例という言葉は消費者被害のようにわかりやすいものではないため、色々な解釈が出てくると思います。それでは、その困難事例が今後増えていくかということについて回答をお願いします。
下村主幹	ご指摘のとおり、今後困難事例は増えていくと予想されます。また、核家族化の問題もあり、今後支援を必要とする世帯が増えて参りますので、虐待や成年後見も連動して関わっていかねばならないケースも増えていくと考えます。困難事例に関しては、もう少し詳細を把握した上で検討していきたいと思えます。

発 言 者	発 言 内 容
議長(大杉会長)	<p>これから困難事例は増えることが予想されるということで、その内容についても今後詳細をみていくという回答でした。他に補足等はございますか。</p>
田代参事	<p>市の方で把握できている事例が全てではないと思いますが、5年前と比べても問題の多様性や多重性であったり、1つの事例が複層している事例が増えているように感じます。高齢者虐待に関しても、以前から市の方で支援や調節を行っておりますが、特にこの3ヶ月間の様子をみますと日常的になってきていると感じます。表に出てきていない部分もありますが、そういった部分も以前の生活福祉課にいたころより、増えていると感じておりました。ただ、それが増えたのか、潜在的なものが表に出てきただけなのかはまだ分析ができておりませんが、少なくとも、ある一定の個人や家庭をみますと、関わる人が多くなってきた、支援する人が多くなってきた結果、相談件数も増えてきており、数値に表れたのだと考えております。</p>
下村主幹	<p>困難事例に関しましては、月1件でカウントされております。そのため、4月5月でつながっていた場合、2件のカウントとなりますので、実際の事例数は数値よりも少なくなります。</p>
近藤副参事	<p>平成25年度と平成26年度を比較しますと大変増えておりますが、平成24年度は161件でしたので、平成24年度と比較しますと、52件の増加ということになり、2倍以上の伸びが続くという訳ではございません。資料の関係上、わかりづらかった為、補足させていただきました。また、認知症の方やゴミを片付けられない方が増えてきていることが数値として顕在化してきていると考えられます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長(大杉会長)	他に質問はございますか。
松本委員	包括支援センターですので、65歳以上の方の相談になりますが、地域の方によってはそういった理解がなく、様々な相談がきて困るといった話も聞きます。そこで、その他の項目はそういった方の相談件数を含めているのか、それとも、ひきこもりの子や精神障害の子を抱えている高齢者もいますので、そういった相談なのでしょうか。
下村主幹	詳しい相談内容については手元に資料がなくお答えできませんが、65歳以上・以下の年齢で分けているわけではなく、介護保険や虐待といった項目以外の内容が全てその他になっている状況です。相談の中には些細な相談も含まれておりますが、詳しい内容についてはまた、改めて確認をしてみたいと思います。
議長(大杉会長)	その他というのも色々な意味がありますので、把握しづらい部分ではございますが、詳しい内容については改めて調べていただき、次回以降報告していただくということでもよろしく願いいたします。
議長(大杉会長)	他に何かございますか。
議長(大杉会長)	資料 No.1 の9ページ以降に関しましては、昨年話のあった内容を成文化したのになりますので、確認をお願いいたします。一次予防・二次予防に関しては引き続き充実していただきたいと思っております。現在、一次予防・二次予防の事業者に関して、増減や撤退等の検討はありますでしょうか。
下村主幹	特に増減・変更等はございません。

発 言 者	発 言 内 容
議長(大杉会長)	<p>一次予防・二次予防の対応をしていただいているグループの方々は大変な思いをされており、このままでは継続できない、逆に収益につながっている等の検討がありましたら、また報告をよろしくお願いします。</p>
議長(大杉会長)	<p>新しい介護保険のパンフレットには、一次予防・二次予防といった表現はないのでしょうか。</p>
粕谷主幹	<p>介護保険法の改正が平成27年度にありました。介護予防事業に関しましては、平成28年3月から新しい介護予防・日常生活支援総合事業になります。そのため、新しいパンフレットには一次予防・二次予防の表現はなくなっているかと思えます。入間市においては新しい総合事業への移行が平成28年3月からとなっておりますので、平成27年度については従来通り一次予防・二次予防事業を行っていきますが、3月以降は新しい総合事業へと変わります。介護保険のパンフレットに関しましては、保険料等の細かい部分で入間市の内容に変更をしてありますが、基本的な内容は全国統一となっているため、こういった表現となっております。</p>
松本委員	<p>新しい介護保険のパンフレットに関しては、3年間作らないのでしょうか。</p>
粕谷主幹	<p>こちらのパンフレットに関しましては、今年度用として作らせていただいております。介護保険料に関しましても再来年度変更になる可能性がございますので、現在毎年作成する計画でございます。</p>
松本委員	<p>多くの市町村で『ハートページ』を無料で作り、配布してくれていますが、入間市ではこういったものを活用してはいないのでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
粕谷主幹	検討させていただきます。
田代参事	松本委員にお聞きしたいのですが、多くの市町村で活用されているのでしょうか。
松本委員	埼玉県・都内等で多くの市町村で活用されています。所沢市も活用しています。
田代参事	入間市でも、民間企業が広告等をのせて、無料で情報を配信する『いるまにあ』がありますが、それに近いもので、介護に関して詳しくかつオリジナルで作れるということでしょうか。
松本委員	そうですね。とても便利で助かっています。
議長(大杉会長)	是非、ご検討お願いします。
議長(大杉会長)	<p>それでは、他にございますか。</p> <p>では、(2) 西武地区地域包括支援センター移転について、事務局からの説明をお願いします。</p>
岩田主幹	(資料 No. 2 西武地区地域包括支援センターの移転について説明)
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございました。ただいま西武地区地域包括支援センターの移転についての説明をいただきました。最終的には平成28年の4月1日には移転をしたいということで色々と調整をされているということですので。</p> <p>このことについて何かございますか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長(大杉会長)	<p>やはり、地域の方の目もありますし、包括支援センターを公の施設に移設するのは良いことだと思います。是非、進めていただければと思います。</p>
議長(大杉会長)	<p>続いて、(3) 地域密着型サービス施設の整備について、事務局からの説明をお願いします。</p>
岩田主幹	<p>(資料 No. 3 地域密着型サービス施設の整備について説明)</p>
議長(大杉会長)	<p>ありがとうございます。資料 No. 3 について説明をいただきました。資料 No. 3 の 6 ページに地域密着型サービス利用状況についてとあります。こちらの説明を事務局からお願いします。</p>
粕谷主幹	<p>(資料 No. 3 6 ページ 地域密着型サービス利用状況 説明)</p>
議長(大杉会長)	<p>地域密着型サービス利用状況に対する質問です。定期巡回・随時対応型訪問介護看護では、狭山市の業者が東藤沢の人達へのサービスも行っているとの解釈でよろしいのでしょうか。</p>
近藤副参事	<p>概ね 30 分でいける範囲であれば提供できるということで、藤沢・東藤沢の方につきましてはサービスを提供できるということです。</p>
議長(大杉会長)	<p>わかりました。ありがとうございます。 他に質問はございますか。</p>
高野委員	<p>先日、グループホームの管理者クラスの方の集まりに参加しました。特養ができたせいで、人が減り、その後も埋まらないといった苦勞をき</p>

発 言 者	発 言 内 容
近藤副参事	<p>きました。市からもグループホームの意義を広く皆に知らせて欲しいとのことでした。先程のハートページのようなものに掲載するといった案もでておりました。グループホームでは、まず人が集まらない悩みと経営者からは埋めると言われる悩みの2つの悩みがあるそうです。さらに、ケアマネから、まずは特養が埋まり、老健が埋まり、その後だと言われたとのことで、グループホームがどういったものなのかを分かっているのではないかと話がありました。そこで、グループホームがどういったものなのかを説明するものが欲しいといった話となりました。</p> <p>昨年の11月にグループホームが新たに設置されましたが、あまり埋まっていない状況であり、ケアマネ協会の集会で説明を行ってまいりたいと思います。グループホームでの生活は認知症の進行抑制にもつながります。そういったことをケアマネ協会を通じて市からも情報提供をしていきたいと思っています。</p>
臼井副会長	<p>参考までに。民児協で民児協便りを6月と12月に各戸配布しています。今年の6月号は障害者の方の特集を組んでやっています。12月までは内容が決まっていますが、グループホームだけではなく、入間市にある介護サービスを特集を組んでもいいかもしれないと個人的には考えています。また、現在、老人ホームで働いており、所沢にはなりますが、隣に特養のある施設です。グループホームは基本的には自立している認知症の方であります。入院して車いす等自立が難しくなった方は特養に移動しています。そういったこともあり、病院のケアマネの方の会に参加することがありますが、グループホームの方だけの会はめずらしいとおもいます。特集を組めるかは現段階ではわかりませんが、出来るだけのお手伝いはしていきたいと思っています。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高野委員	<p>是非、お願いします。</p> <p>先日集まったグループホームでは特養とセットになっているグループホームが少なく、ミニ特養のような状態となっています。介護度が上がったからといって特養に移動させたり、空きが出来たから回してもらおうといったことも出来ず、終末まで見ているケースもあります。</p>
臼井副会長	<p>確かに、私のところのグループでも特養とグループホームが同じ敷地にあるのは1箇所しかなく、特殊なケースだと思います。ですので、一般的に特養に移動させるといったことも難しいと考えています。</p>
議長(大杉会長)	<p>是非、いい方向に進むと良いですね。</p>
近藤副参事	<p>(グループホーム一覧の説明)</p>
議長(大杉会長)	<p>それでは、(3) 地域密着型サービス施設の整備についてはこれよろしいでしょうか。</p> <p>(4) その他について事務局から何かありますでしょうか。</p> <p>特にありませんということですので、次回開催予定について事務局からお願いします。</p>
下村主幹	<p>次回は10月中旬を予定しております。また1ヵ月前頃にご案内をさせていただきます。</p>
議長(大杉会長)	<p>それでは、本日の全ての議題を終わりましたので、議長の座をおりさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
田代参事	<p>大杉会長、ありがとうございました。</p> <p>最後に閉会のご挨拶を臼井副会長、お願いいたします。</p>
臼井副会長	<p>ただいまをもちまして、入間市地域包括支援センター及び地域密着型サービス等運営協議会を閉会とさせていただきます。どうもご苦労さまでした。</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

年 月 日

議長 の 署 名 _____